**開催告知のお願い**

**News Letter**

2021 年 6 月 7 日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
産業振興センター

**【初開催】建設現場における最新の“ 資材・技術・工法・管理”と、**
**地震や台風などの自然災害に備える製品・サービスが一同に集結**

# 『九州 都市開発・建設総合展 2021』
# 『災害リスク対策推進展 九州』

**マリンメッセ福岡にて 6 月 16 日(水)から 2 日間開催**

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、2021 年 6 月 16 日(水)、17 日(木)の 2 日間、マリンメッセ福岡 A 館で、今回が初開催となる「九州 都市開発・建設総合展 2021」と「災害リスク対策推進展 九州」を開催します。

全国の主要都市では建設ラッシュが続いています。福岡では、 天神ビッグバンや博多コネクティッドなどこの先約 10 年の大規模再開発が進められ、またスーパーシティ構想も動き始めています。今回、九州地域の都市開発計画と建設業関係者のビジネス機会の創出を目的に開催します。
更に近年地震や台風、その他自然災害が及ぼす深刻な影響により、注目されている事前防災・減災、インフラ整備をテーマとした商談展示会も同時開催することで、相互に関係する産官学民のマッチングを後押しします。

依然として脅威となっている新型コロナウイルス感染症拡大による影響が懸念されつつも、with コロナを前提としたニューノーマルを模索する動きも見られます。特に九州においては、都市部の再開発、自然災害への備え、観光産業の需要喚起など、感染症対策と地域経済の V 字回復を実現する効果的で即効性のあるソリューションが求められています。本展示会は、社会環境の維持に不可欠とされる“エッセンシャル産業”に従事する方々のビジネスを側面からアプローチできる場を目指しています。
また、テレワークやオンラインを活用した商流も盛んですが、今こそ“リアルな場”での商談や意見交換の有効性も再認識されています。本展示会では、3 密を避けるためにも運営ガイドライン（検温の実施、入場の際のマスク着用義務付け、会場の消毒や換気、オンライン事前入場登録の推奨、参加者同士のソーシャルディスタンスを確保する運営、など）を設け、出展者、来場者の感染拡大防止策も万全に実施します。
今回初開催となる 2 展のほか、自然災害のひとつ”暑さ”対策製品を集めた「猛暑対策展」や「労働安全衛生展」、住宅と商業施設に関する展示会 「ホーム＆ビルディングショー」、農業や観光産業を対象とした展示会なども同時開催し、様々な分野から 200 社以上が集結し、2 日間で約 40 本の無料セミナーも実施します。

現在、公式ホームページ（「都市開発展」「災害リスク展」で検索または、http://www.jma.or.jp/toshiken/ http://www.jma.or.jp/hafp/disasters/）にて来場事前登録を受付中です。

**【展示会の内容に関するお問い合わせ先】**
一般社団法人日本能率協会 都市開発・建設総合展／災害リスク対策推進展事務局 担当：田中達郎
〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22 TEL: 03-3434-3453
**【取材に関するお問い合わせ先】**
一般社団法人日本能率協会 広報室 担当：綿貫里美
〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22 TEL:03-3434-8620／E-mail:jmapr@jma.or.jp
**【取材・プレス登録方法について】**取材希望の方は、展示会会期前までに下記フォームにてご登録ください。
**https://www.jma.or.jp/press/index.html**

## ■開催概要

（2021 年 6 月 4 日現在）

展示会名:「九州 都市開発・建設総合展 2021」／「災害リスク対策推進展 九州」
開催期間:2021 年 6 月 16 日(水)・17 日(木)9:30～16:30
会　　場:マリンメッセ福岡 A 館
主　　催:一般社団法人日本能率協会
出展規模:61 社／80 社
（同時開催展含む展示規模 222 社／317 ブース）
入場者数:7,000 名予定(同時開催展含)
同時開催:「九州 猛暑対策展」「九州 労働安全衛生展」
「九州 ホーム&ビルディングショー」
「九州 観光・ホテル産業展」「九州 アグロ・イノベーション」

## ■注目の特別講演

※敬称略

### 「ポストコロナを見据えた福岡のまちづくり」

○日時：2021 年 6 月 16 日（水）10:30～11:15
○会場：会場内「セミナー会場 C」
○定員：70 名（無料・要聴講事前登録）
○講演者：福岡地域戦略推進協議会(Fukuoka D.C.)　事務局長　石丸 修平
○講演概要

新型コロナウイルス感染症の発生により、リモートワークの定着など人々の暮らし方も大きく変わりました。 そのため都市開発やまちづくりについても感染症への対策はもちろん、出会い語り合うことで斬新なアイデアや価値を創造する場として都心のオフィスを機能させるなど、新たな対応が求められています。

福岡市は天神ビッグバンや博多コネクティッドといった大型プロジェクトが進む中、感染症対応シティという新たな政策を打ち出すなど、政策をアジャイルにアップデートしています。 一方で、都心だけではなく都市圏全体に視野を広げたまちづくりを考えていくことで、対応力はより強固になると考えます。

このような中、福岡地域戦略推進協議会は昨年 10 月、FDC 第 2 次地域戦略を策定し、掲げた将来像「東アジアのビジネスハブを目指す」の実現に向け産学官民連携のプラットフォームとして様々な取り組みを進めており、本セミナーでは、コロナ後を見据えたまちづくりに向けた FDC の活動についても紹介いたします。

## ■注目の企業セミナー

※敬称略

### 「未曾有の災害に対応する AI 防災の最前線～最新技術の活用事例」

**株式会社 Spectee　村上 建治郎**

○日時：2021 年 6 月 16 日（水）14:50～15:35
○会場：会場内「セミナー会場 C」
○定員：70 名（無料・要聴講事前登録）

### 「お使いのプリウスから電気を取り出す電源キット“Re-Q”のご紹介」

**トヨタ自動車九州株式会社　次世代事業室　主幹　山口 大介**

○日時：2021 年 6 月 17 日（木）11:35～12:20
○会場：会場内「セミナー会場 C」
○定員：70 名（無料・要聴講事前登録）

### 「まちづくり・復興の経験を活かした防災・災害対応への取組み」

**独立行政法人都市再生機構　九州支社　災害対応支援室　室長　渡邉 征爾**

○日時：2021 年 6 月 17 日（木）14:50～15:35
○会場：会場内「セミナー会場 C」
○定員：70 名（無料・要聴講事前登録）

## ■注目出展企業

### テーマ：「都市開発・建設」

**これで足場の課題も解消！**
**安全で組立解体がスピーディな緊結式足場**

日建リース工業 (ブース：T-16)は、足場の課題である、重い・狭い・持ちにくい・揺れる・うるさい・ゆるむはずれる等これらの不満を解消すると共に、手すり先行工法に完全対応した安全で組立解体がスピーディな新世代の緊結式足場をご提案します。

**桁及び橋脚の点検が可能な 1 台 2 役のゴンドラ車**

日本ビソー (ブース：T-17)は、橋梁点検車にゴンドラ機能を搭載した 1 台 2 役の「ゴンドラ車」を実機展示。日本ビソーはゴンドラメーカーとしてのノウハウを活かし、これまでアプローチが困難であった地下深さ５０ｍを超える橋脚面へアクセス可能なゴンドラ車を開発。実機への試乗も体験いただけます。

**「ロボット×テクノロジー」による DX 推進**
**現場で使える、使い続けられる製品**

イクシス (ブース：T-14)は、建設業を始めインフラ業界向けに「ロボット×テクノロジー」による DX 推進のための製品・サービスを取り扱う。インフラ業界向けに 20 年以上の開発実績があるイクシスの技術力をぜひご覧ください。

**顧客の持つデータを活用した**
**新たなイノベーション**

きもと(ブース：T-08)は、お客様がお持ちの 2 次元図面や 3 次元データを借用し、データ加工する DataKitchen 事業を展開している。360°カメラを活用した現場管理や施設管理、図面やレーザー計測した点群データからの 3D モデリングデータを活用したシミュレーション動画の作成を提案します。

## テーマ：「災害対策」

**業界最大規模のインフラ網を活用した**
**緊急・災害時の燃料供給**

三和エナジー（ブース：S-09)は、約 20 年間に渡る緊急対応の実績をふまえた最適なサービスをご紹介。全国に広がる宇佐美鉱油ネットワークを生かした「エネルギー総合プロバイダー」として A 重油重油循環濾過サービスや危険物施設の施工・管理・運用までを総合提案します。

**人と地球のいのちを守る**
**消防自動車のトップメーカー**

モリタ（ブース：S-10)は、排水ポンプユニット、可搬式電源装置など、災害対策機器をご紹介します。すべての人が安心して暮らせるための安全な社会を目指し、そのためのモノづくりと技術革新で社会との調和をはかります。

**数秒組立て段ボール製ベッド**
**「パッと！ベッド！」**

太陽インダストリー（ブース：S-26)は、従来の段ボール製ベッドにおいて、避難所開設の際に問題視されている組立ての労力と組立方法の複雑さを解決する、「誰でも・簡単に・数秒で」を実現した段ボール製のベッドを提案します。

**地球のギプス。**
**災害時の法面や山岳崩落時の応急対策補強資材**

モリリン（ブース：S-01)は、雨・散水でギプスのように固まり、長期間の高耐久・高品質な“ドライマット”をご提案します。手軽で安価で、誰でも簡単に施工可能。会場では、硬化前・硬化後の見本サンプルをご覧いただけます。

その他出展企業および出展製品の詳細は、公式ホームページ内の「出展者検索」
https://www.ult-thunder.jp/kyusyu-toshi-saigai/ja/navi/exhibitor/search に掲載しています。